平成２７年度　第１回学校評議員会　＜議事録＞　　平成２７年５月１３日（水）

（１）開　会

出　席　（学　校）後藤校長、目谷副校長、三條教頭（全日）、武藤教頭（定時）

（評議員）田代雄一、黒元浩志、太田隆久、岡田理恵、前野史賀　＜敬称略＞

（２）委嘱状伝達及び校長挨拶

・平成 27 年度学校経営方針について　　・全日制及び定時制のシラバスについて

・滝川市内の高校間口の動向について

（３）自己紹介

（４）学校評議員会開催計画等（三條教頭）

（５）学校概況の説明

・全日制　学校概要について（三條教頭）

・定時制　学校概要について（武藤教頭）

（６）情報交換・意見交換

【全日制】

・田代評議員：大学入学者選抜の改革についてはどのような対応になるか。。

（ 回　答 ）：現在の中学１年生から対象となる。高２対象の「高等学校基礎学力テスト」はＡＯ入試や推薦入試に利用される可能性もある。高３対象の「大学入学希望者学力評価テスト」については、現行のセンター試験に代わるものだが、１点刻みでの評価をしない多様な評価など大きく変わる予定。さらに、平成２８年度から調査書及び指導要録が改訂となる。一般受験では影響は少ないと予想される。

・黒元評議員：進学実績を含め５年１０年かけて長い目でしっかりした学校づくりをして欲しい。
生徒指導については、教職員が率先して服装・言葉づかいをしっかりして欲しい。
スマートフォンの使用についても実情に応じたしっかりした指導を徹底して欲しい。

・太田評議員：「春の交通安全運動」が５月１１日からスタートした。旗の波運動にも一緒に参加した。交通安全の指導をしっかりして欲しい。スクールガードの経験から、挨拶指導は相手待ちではなく、教員自ら声かけすることも大切と思う。

・岡田評議員：放課後下校生徒を迎えに来ている保護者の路上停車は交通安全上気になる。

（ 回　答 ）：生徒指導は非常に重要と考えている。交通安全については、特に自転車の事故が大きな社会問題となっている。加害事故も増えている。

・前野評議員：滝高は私服でもほとんどの生徒はしっかり自己管理できている。高校生の地域での活動に更に積極的に取り組んで欲しい。社会へ出る準備として大人との関わりを増やす必要がある。

・黒元評議員：入学生の確保には学校のＰＲが必要である。教職員も腰を据えてがんばって欲しい。

・岡田評議員：進路実績で国公立４５名はここ数年では最も低い数字ではないか。国公立がすべてではないが、生徒の進路指導をしっかり行って欲しい。また、これから高体連の大会があるが、学校の評判を落とさないように、規定にあった頭髪などの指導を行って欲しい。

（ 回　答 ）：生徒指導とあわせて、きめ細かい進路指導に努めたい。

・岡田評議員：ＳＳＨの取組は５年で終了か。内容は好評であるが、進路実績に影響しないように取り組んで欲しい。

【定時制】

・岡田評議員：定時制については、科目履修の講座が少なくなった。数は増やせないのか。とてもよい取組でＰＲにもなる。地域に開かれた学校を目指してがんばって欲しい。入学生の確保に向け、しっかり中学校にもＰＲして欲しい。

（ 回　答 ）：：昨年度同様ＰＲに努める。

（７）閉　会　校長挨拶

・今後の学校評議員会について

＜記録者＞　定時制教頭　武藤　禎弘